



# 復興まちづくり通信

一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 三陸道「南三陸海岸 I C」が供用開始！



三陸自動車道の南三陸道路のうち「志津川 I C（インターチェンジ）」と「南三陸海岸 I C」間の3キロが3月20日、供用を開始しました。開通式には地域住民や関係者など約250人が参加。くす玉を割り、テープカットをし、約300個の風船を飛ばして町中心部への高速道路の延伸を祝いました。南三陸海岸 I Cは町役場や南三陸病院、魚市場に近く

緊急搬送時間の短縮や水産物の輸送の効率化、中心市街地の交通混雑の緩和に大きく寄与することが期待されます。2011年3月に着工し、事業費は約110億円です。南三陸海岸 I Cの供用で、起点の仙台港北 I Cからの距離は85キロに伸びました。新年度中に、南三陸海岸 I C—歌津 I C間（4.2キロ）と、大谷海岸 I C—気仙沼 I C間が開通する予定です。

## 災害公営住宅の整備完了！

### ～町営志津川中央復興住宅で竣工式～

南三陸町は東日本大震災の災害公営住宅全738戸の整備を終えました。最後に工事が完了した志津川中央復興住宅で3月20日、竣工式が行われ、入居者と役場、工事関係者などおよそ80人がテープカットで完成を祝いました。同住宅は鉄筋コンクリート造り4階建て4棟で、住宅戸数は計115戸。UR都市機構の施工で平成27年2月に着工し、建設費は約35億円です。中央地区防災集団移転団地（135区画）や志津川小、志津川中に隣接し、周辺には生涯学習センターや保育所、消防署が整備される計画で、7月末にオープンが予定されるウジエスーパーのショッピングセンターも徒歩圏内です。



## 志津川東公営住宅で「くらしの懇談会」

志津川東復興住宅の第2集会所で3月14日、町が主催する入居後初の「くらしの懇談会」が開かれ、入居者24人が出席しました。お茶を飲みながら和やかに自己紹介した後、新居の住み心地や暮らしの工夫、生活する上での課題などを話し合いました。役場の公営住宅担当者は、集会所や共用部分をうまく活用し、住民同士の交流を深めるため自治会の設立を急ぎたいと話しました。当日は、復興みなさん会のメンバーも進行係や記録係としてお手伝いをしました。



(くらしの懇談会の様子＝志津川東公営住宅集会所)



(交流会での会食の様子＝戸倉復興住宅集会所)

## 手打ちそばで公営住宅入居者もてなす 長野須坂市・山あじさいの会戸倉団地を訪問

長野県須坂市にある普願寺(業田昭映住職)の「山あじさいの会」の会員17人が3月10日、町営戸倉復興住宅を訪問。集会所で交流会を開催し、入居者約30人が参加しました。最初に、「東日本大震災犠牲者 七回忌法要」が営まれ、業田住職ら5人の僧侶が読経し、参列者全員が焼香を行いました。交流会では、戸倉中仮設住宅時代以来の再会を喜び合い、同会メンバーによる手打ちの「二八そば」や長野名物「おやき」が振る舞われ、会食をしながら親睦を深めました。

## 春を呼ぶ花寿司を作ってみよう！

### ～伊里前復興住宅で住民の交流会～

伊里前復興公営住宅の集会所で3月14日、住民の交流を促すイベント「春を呼ぶ花寿司を作ってみよう」が開催されました。同住宅のLSA(生活援助員)が主催したもので、入居者と隣接する防災集団移転団地の住民など16人が参加。歌津婦人会の佐藤ふく子会長の指導で、卵焼きやホーレン草、桜でんぶを具材に「チューリップの花寿司」に挑戦しました。入居者の小野寺みづ江さんは「ごはんとも具材の分量の加減が難しかったが、初めてにしては上出来」と笑顔で話しました。



(講師の指導で花寿司作りに取り組む参加者)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26  
上山八幡宮 社務所内 [minasan.msrk@gmail.com](mailto:minasan.msrk@gmail.com)

当会は今年度、トヨタ財団と大阪コミュニティ財団から助成をいただいで活動しています。